

Liberty

福原学園広報誌[リバティ]

九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol.05
2011
SPRING

理事長メッセージ

想い新たに。

特集① 学部長メッセージ

諸君へ *message for students*

特集② VOICE 在学生メッセージ

Progressive Professors

九州共立大学
スポーツ学部スポーツ学科

藤井 均 准教授

九州女子短期大学
子ども健康学科

矢野 洋子 教授

Active student's Report

九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科

大熊 亜希さん

九州女子短期大学 初等教育科(現 子ども健康学科)

津田 あゆみさん



The Brilliant Days

ふと、想い出のアルバムを開いて



【九州共立大学の正門／昭和45年】

時の流れとともに変わってゆく風景は、
時代の進化を具現する。

だが、自己の心に誓った思いは揺らぐことがない。
志は根を張り、芽を出し、やがて大輪の花を咲かせる。
信念が不变であり続けることもまた、進化である。
昭和45年3月、九州共立大学の正門（現在の東門）に、
2期卒業生により「自律処行」の碑が建立された。

この門に幾多の学徒が集い、夢を膨らませ、巣立って行った。
学園で培った知識、技術は、
やがて時代を動かす原動力となる。
未来を創造するのは、進化を促すものは、
紛れもなく、変わらず受け継がれる建学の精神。
今日もまた、明日をめざす夢たちが、門をくぐる。

Liberty

福原学園広報誌[リバティ]
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol.05
2011 SPRING

事務局：福原学園 法人事務局 総務部 総務課
TEL : 093-693-3083
URL : <http://www.fukuhara-gakuen.jp/>
発行：学園広報委員会
発刊日：平成23年4月1日

CONTENTS[目次]

origin of Principle
「自律処行」の源流【第3回】

剛の志を持ち、
柔の道を究める。

〈理事長メッセージ〉

想い新たに。

■特集-1 03

学部長メッセージ

諸君へ。

message for students

■特集-2 08

VOICE

在学生メッセージ

■Progressive Professors

Vol.9 12

九州共立大学
スポーツ学部スポーツ学科

藤井 均 準教授

Vol.10 14

九州女子短期大学
子ども健康学科

矢野 洋子 教授

■Active student's Report

Vol.7 16

九州共立大学
バレーボール部キャプテン

大熊 亜希 さん

Vol.8 18

九州女子短期大学
バスケットボール部マネージャー

津田 あゆみ さん

■Liberty TOPICS 20

リバティ・トピックス

■From OB&OG to you 21

贈る言葉、送る想い



Liberty
福原学園広報誌[リバティ]
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol 05 2011 SPRING

Origin of Our Principle

「自律処行」の源流

福原学園の学は「自律処行」は、創設者・福原軍造の熱い想いが生みだした箴言である。

彼がめざした眞の教育とは何か。

“建学の人”の横顔とともに、かつての日々を振り返る。



柔道着は、創設者・福原軍造のもうひとつ
の正装だった。身をもって文武両道を貴き、
後に続く者たちをその姿で叱咤激励した。
対峙するものを真っすぐに見つめ、理解し、
柔軟に対処する術を身につけていた。

柔道範士 10 段。
福原軍造がその高みを極める道程には、
些かの気負いも街いもなかつた。
己の理想を見据え、一心不乱に邁進した。
道を拓くのは、濃密な時間と弛みのない鍛錬。
生き方を見せた。

柔道範士 10 段。
福原軍造がその高みを極める道程には、
些かの気負いも街いもなかつた。
己の理想を見据え、一心不乱に邁進した。
道を拓くのは、濃密な時間と弛みのない鍛錬。
生き方を見せた。

剛の志を持ち、
柔の道を究める。

生き方を見せた。

生き方を見せた。

生き方を見せた。

諸君 Message for students

Chigusa Kamachi

九州女子短期大学に
「子ども健康学科」が
誕生しました。

Message



◆九州女子短期大学 部長
蒲池 千草

主要担当科目は、看護学、専門総合演習、修了研究、卒業研究。ふだんの楽しみは、近所をフラフラ歩く散歩。庭の花や木をながめ折尾の自然を楽しんでいます(現在、1日に1500キロカロリー、生野菜350g、1万歩(目標)を4年間継続中です)。

1 学科構成の目的

これまで養護教育・初等教育の2科と専攻科養護教育学専攻で構成されていましたが、本年度から「子ども健康学科」の1学科構成となります。子どもを取り巻く現代の環境に対応できる保育・教育現場に必要な実践力を身につけることが狙いです。新しい学科では、「子ども」「保育」「健康」の各分野の基礎的内容を共通に学びつつ、発達支援領域(特に保育士と幼稚園教諭になるために必要な科目群)、健康支援領域(特に養護教諭その他医療関連職種に就くために必要な科目群)のいずれかに軸足を置きながら、各自の進路に合わせて学びを深めていきます。子ども健康学科は、社会的なニーズと学生の情熱に応えます。



子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、これまでも以上に子どもの「こころ」と「からだ」を考える新しい保育・教育の実践が必要になってきました。子ども健康学科では「子ども」「保育」「健康」を主軸に「子どもの発達支援領域」および「子どもの健康支援領域」に関する幅広い知識と技術を楽しく学ぶことができます。そして学生の進路に必要な幼稚園教諭、養護教諭、保育士等の免許・資格の取得が可能です。

実践力育成のために教育実習、保育実習、病院実習、幼稚園・企業への職業体験を実施していますが、これらの実践学習は少人数制で修得できるように工夫しています。また、社会人としての教養や協調性、理解力、的確な判断力を育み、学生一人ひとりの将来の人生設計を可能にする「キャリア教育」を1年次から2年次まで一貫して行っています。

入学てくる皆さんがこの自由な新風の中で、のびやかに学習でき、子どもたちの豊かな成長・発達と健康増進をしっかりと支援する保育者・教育者になれるように応援いたします。

新入生の諸君、ご入学おめでとう。

これまで皆さんを力強く支え、温かく見守ってこられた

ご家族の方々にも、心からお祝いを申し上げます。

また、学生生活を謳歌している在学生もそれぞれに進級し、

新しいステップへと踏み出したことでしょう。

4月はすべての人々にとって、節目の季節です。

いくつもの節目を経て、人も植物も大きく逞しく美しくなります。

そして、人間にとっていちばん大切なものは、

植物にとっての根っことも言える“志”です。

根があり、幹があり、枝があり、花が咲き、実がなります。

学生の諸君には、自らの将来を見据えた志をしっかりと持ち、

迷うことなくこの一年を突き進んで、実り多きものにして欲しいと思います。

福原学園は、学生諸君の情熱を受け止め、

最良の方向に導く教授陣をはじめ、

先進の設備と体制で全力を挙げてサポートします。

各大学においては、創設者福原軍造が定めた建学の精神

「自律処行(自らの良心に従い、事に処し善を行う)」に基づき、

人間教育を基調として、それぞれがめざすライフステージに応じた

教育を推進しています。

今年度は九州女子短期大学に「子ども健康学科」を新設しました。

これは、時代の趨勢から、子どもの豊かな成長と

心身の健康の増進を支援する保育者・教育者の養成が

必要であるとの判断によるものです。

新しい時代を創造していくのは不变の志です。

私は、理事長として、そして学長として、本学園の教職員共々、

学生が有意義なキャンパスライフを送るように全力で支援し続けることを

保護者の皆様にお約束いたします。

学園はひとつです。本年度も皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、

九州共立大学、九州女子大学、九州女子短期大学の

新たな歴史を創って参りたいと思います。

学校法人福原学園 理事長

九州共立大学 学長 九州女子大学・九州女子短期大学 学長

福原 弘之

PROFILE

1941年生まれ。福岡大学経済学部卒。1964年八幡西高等学校(現自由ヶ丘高等学校)に教諭として赴任。民間企業の経営者を経て、2004年学校法人福原学園の常務理事に就任する。翌年、副理事長となり、あわせて九州共立大学と九州女子大学・九州女子短期大学の副学長を兼任。2007年、福原学園理事長に就任した。2008年、九州共立大学の学長となり、2010年九州女子大学・九州女子短期大学の学長となる。

全日本社会人体育連盟副会長、九州体操协会会长、福岡県体操协会会长、福岡県レスリング协会会长、私立大学协会九州支部監事。趣味はゴルフ、野球、スポーツ観戦。

新想い

（理事長メッセージ）



新

入生の皆さん、ご入学おめでとうござい
ます。在校生の皆さんも、気持ちを新た
に勉学に励みましょう。



Hiroshi Yokogawa

Message

考え方抜く力、
前に踏み出す力、
チームワーク。

経済学部では「誰にでもある伸びしろを大きく伸ばす教育」「自分を見失さずに誰とでも『ユニティーン』できる能力が自然に身に付く教育を行い、「リーダー」を育てます。大切な4年間、目標に向かって明るく張り切って過ごしましょう。

PROFILE 横川 洋

◆九州共立大学 経済学部長

Mitsuo Uno

Message

“流れを読み”
“流れを捉え”
“流れに乗る”

宇野 美津夫

◆九州共立大学 スポーツ学部長

専門は、流体力学。「スポーツ学概論」「スポーツ統計学」「スポーツ実験力学」他の授業を担当します。モットーは「心にぱいつ
も喜びをもつて、瞬間を楽しむながう」。

社会生活やスポーツ競技で、些細な事がきっかけになり、これまでとまったく違った流れになることがあります。水が自然に抵抗の少ない方に流れるように、人も、経験や知識を基に、この変化に対応する能力を潜在的に持っています。大学は、現代社会と未来への方向性、すなわち、流れを読み、“流れを捉え”、“流れに乗る”能力を発見し、磨きをかけるところでもあります。授業で多くの知識を修得し、キャンパスライフで人とのつながりを体験し、多くの人から指導を受け、社会の海を渡る航海技術を身につけください。

現代社会では、ますますスポーツ学を学ぶ意義とスポーツの役割が大きくなっています。スポーツを通じての人材育成、人間教育、健康づくりへの貢献、また、スポーツ競技力向上を目指した新たな潮流が発生しています。大学は、社会の要請とみなさんの希望に応えることのできる場所です。スポーツ学を学び、スポーツを楽しみながら、ここに豊かな人、リーダーシップを發揮できる人を目指し、チームワークでがんばりましょう。スポーツを愛するみなさんの出会いを楽しみにしています。



諸君へ。

諸君へ。

Noritomo Tasaki

**学ぶ喜びを
再び実感
して欲しい。**

Message

◆共通教育機構長 田崎 徳友

専門は比較教育学で、主としてフランスを対象にその教育改革政策を研究してきている。モットーは、「教えるとは、希望を語ること」。

PROFILE

Liberty 07 [リバティ]

Masaki Miyake

**時間は
すべての人が
もつて いる宝物。**

Message

◆九州女子大学 家政学部長 三宅 正起

専門は、食品科学、食品工学。「食品学／実験」「食品機能論」他の授業を担当している。信条は、誠実な心でたゆまぬ努力をする学生に報いることだという。

PROFILE

勉 強」とか「学ぶ」というと、嫌いなことを強いたれると思う人が少なくないかも知れません。知らなかつたことが分かるようになる、できなかつたことができるようになる。それは大きな喜びであり、勉強は本来楽しいことです。しかし、成長のうちにこの喜びを忘れることがあります。

人間は知的好奇心に満ち、いろいろなことに挑んできます。皆さんもそうだと思います。大学は、知的好奇心を持ち積極的に関われば、それに応え満たしてくれるところです。この学ぶ喜びを在学中に再び実感して欲しいと願っています。

共通教育機構は、どの専門に進もうともその基礎となる共通の教育を担当しています。それは教養教育とか一般教育とも呼ばれ、本学では人文科学や社会科学、英語や中国語などの外国语、芸術、健康・自然科学、キャリア支援科目などからなっています。このうちキャリア支援科目では、授業「キャリア・デザイン」を全学共通に展開し、大学教育へのスムーズな導入教育を行いつつ、大学で学ぶこと」と「社会で働くこと」との関わりなどについて少人数クラスでの授業を行います。そこで学ぶ楽しさを体得しながら、社会に出て活躍できる力を身に付けてもらいます。

この九州女子大学で知的好奇心をいつそうふくらませ、その探究をとおして、グローバル化した現代社会を邁進する基盤を築きましょう。みなさんの若い力と希望に心から期待しています。

新

人生ならびに在学生のみなさん、貴重な時間をただ過ごすのではなく活用しましょう。時間は人間が消費しうる最も価値あるものです。時間は平等に与えられており、とくに学生時代の時間の使い方によって、その後の人生が決まるといつても過言ではありません。

大学生として、付加価値の高い時間を消費してほしいと思います。1日24時間という限られた時間の中で、いかにして生産性の高い時間を多く獲得するかを考えてください。そのためには無駄な時間を自ら断つ努力も必要です。素晴らしい発見や発明にも時間が重要です。時間が偉大な価値を左右することもなくありません。また、時間にルーズな人はどうでしょう。時間は人間の価値をも決める尺度になります。

家政学部では女性の社会進出をサポートする多くの免許・資格を取得できます。人間生活学科では生活を科学的な視点で捉え、ライフスタイルを創造します。栄養学科では食と栄養のエキスパートになり、管理栄養士をめざします。専門教育で得る知識はかけがえのない財産です。あなたが社会に巣立つていくまでの時間を有意義に使い、自らを磨きましょう。

時間は過去に戻らない……

Kazuko Kojō

**知識を身につけ、
友情を育み、
夢に向かつて
自己実現を。**

Message

◆九州女子大学 人間科学部長 古城 和子

専門は教育心理学で、学校心理学、心理測定法等も担当している。北九州市次世代育成行動計画策定懇話会前期では副座長、後期では座長を務め、「元気発進!子どもプラン」の策定に寄与している。

PROFILE

今 春、新入学生の皆様方を人間科学部の一員としてお迎えし、4年間共に学ぶことができるることを教職員一同、心から嬉しく思っております。

人間科学部は学是“自律処行”的もと、文化に関連する学問領域と人間の発達に関わる学問領域において高度な専門的教育・研究を行い、国際感覚と幅広い教養を身につけて、高度な専門性を持つ地域社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。その中でも、人間発達学専攻は多様な人間の発達及び対人援助について専門的知識と技能を身につけて、発達等に関する実践的能力や免許・資格を有する人材の育成を目指しています。

本学では、一人ひとりの個性を大切にし、それぞれの可能性と魅力を充分に發揮できるよう応援し、見守っていきます。学生時代に高度な専門的知識や技能を身につけるとともに、生涯の宝となる友情を育み、自分の夢に向かつて自己実現することを切に願っております。

水泳選手を育てて
チーム北島のような
強い集団を作る。

九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科4年
(筑波大学大学院合格)

橋富 達也さん
(佐賀県 佐賀北高等学校出身)

MESSAGE

この大学には思いきりスポーツに打ち込める環境がそろっていて、将来進む道の選択肢も多彩です。いろいろな可能性を広げてください。



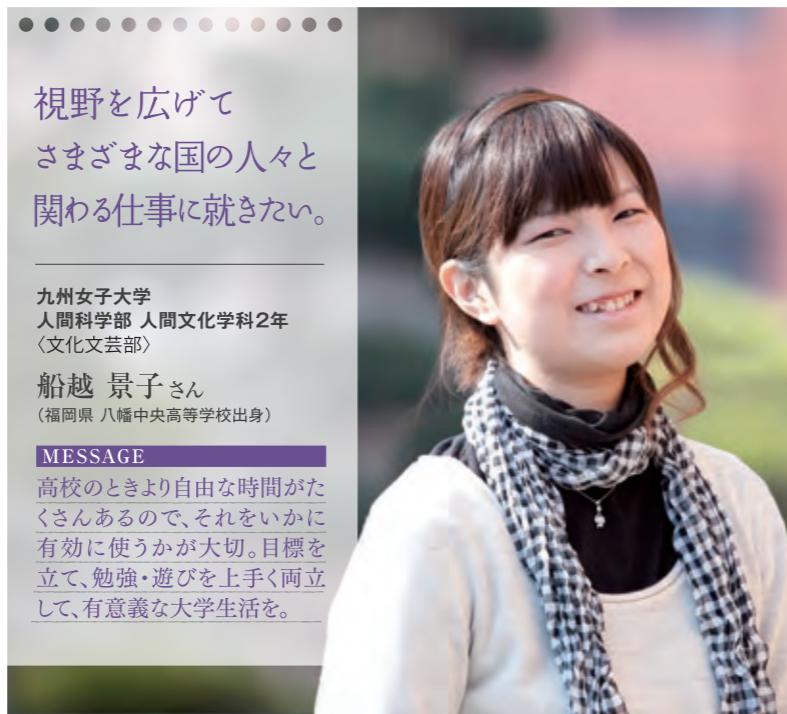
スポーツを通して
みんなに慕われる
保健体育の先生になる。

九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科4年
(女子バレーボール部)

川崎 美菜さん
(京都府 洛西高等学校出身)

MESSAGE

大学4年間は、時間には余裕がありますが、何となく過ごしているとあっという間です。メリハリのある生活を心がけ、夢に向かって頑張ってください。



市役所に就職して
スポーツを通じて、
地域を活性化する。

九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科2年
(CAREサークル)

米積 歩さん
(鹿児島県 川内高等学校出身)

MESSAGE

将来どうしたいか、何になりたいかを、できるだけ早く明確にして、大学4年間が有意義なものになるように頑張ってください。



生徒のこと
いちばんに考える
先生になる。

九州共立大学
経済学部 経済・経営学科2年
横田 智子さん (岡山県 就実高等学校出身)

MESSAGE

分からないことがあっても、
先生や先輩が、貴重なアドバイスを
してくれる和気あいあいの大学です。
きっと思い出に残る学生生活になります。



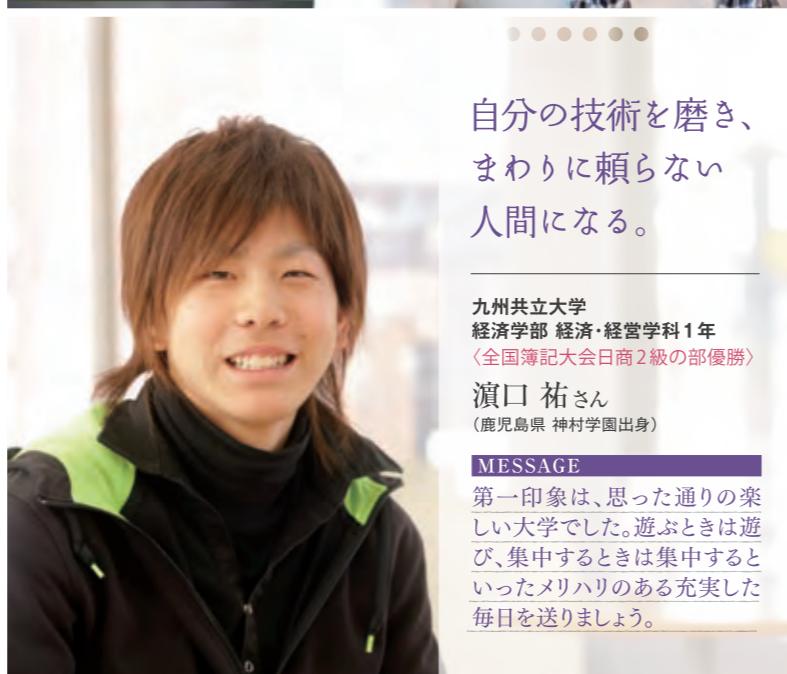
4月。大いなる期待を胸に新しい
キャンバスライフが始まる。自己を見
つめ、友と語り、知識を身につ
け、知恵を育む。この場所は、めざ
した夢に確かに近づいているとい
う実感をもたらす。将来をサポー
する学園の熱い想いが息づいてい
る。在学生の真剣なまなざし、爽や
かな笑顔、しっかりとした語り口
は、なによりの証。描いた夢をつか
む自信、大学生活の魅力、新入生へ
のアドバイス……。人生の貴重なひ
ときを謳歌する個性あふれる先
輩たちが、自身の夢と新入生への
メッセージを語る。

VOICE

在学生のメッセージ

夢を見つけ、追いかけ、
近づく場所。

大学生活を謳歌する声を聴け。



自分の技術を磨き、
まわりに頼らない
人間になる。

九州共立大学
経済学部 経済・経営学科1年
(全国簿記大会日商2級の部優勝)

濱口 祐さん
(鹿児島県 神村学園出身)

MESSAGE

第一印象は、思った通りの楽
しい大学でした。遊ぶときは遊
び、集中するときは集中すると
いったメリハリのある充実した
毎日を送りましょう。

取得可能免許・資格

※選択したコースや履修状況によっては取得できない資格があります。

九州共立大学

経済学部【経済・経営学科】

- 経済戦略コース
- 金融コース
- 國際・地域経済コース
- 環境・産業マネジメントコース
- ビジネスコミュニケーションコース
- スポーツビジネスコース
- 経営管理コース
- 会計・情報コース
- 起業・後継者コース

[取得可能資格]

中学校教諭一種免許状(社会)/高等学校教諭一種免許状(商業、地理歴史、公民、情報)/ビジネス実務士/上級ビジネス実務士/情報処理士/上級情報処理士/プレゼンテーション実務士/環境マネジメント実務士

目指す資格

日商簿記検定(3級、2級、1級)/イベント検定/ファイナンシャルプランナー/旅行業務取扱管理者(国内・総合)/販売士/ISO内部監査員(環境、品質)/宅地建物取引主任者/中小企業診断士

スポーツ学部【スポーツ学科】

【各コースでの主目標資格】

- スポーツ教育コース
中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 健康フィットネスコース
健康運動指導士(受験資格) / 健康運動実践指導者(受験資格)
- コーチングコース
スポーツリーダー
- スポーツトレーナーコース
アスレティックトレーナー(受験資格)

その他の資格

ジュニアスポーツ指導員(受験資格) / スポーツプログラマー(受験資格) / トレンニング指導者(受験資格) / キャンプ・インストラクター / (ADI)エアロビックダンスエクササイズインストラクター(受験資格) / レクリエーション・インストラクターなど

九州女子大学

家政学部

●人間生活学科

中学校教諭一種免許(家庭) / 高等学校教諭一種免許(家庭) / テキスタイルアドバイザー(衣料管理士)2級受験資格 / フードスペシャリスト受験資格 / 二級建築士受験資格 / 商業施設士受験資格 / インテリアプランナー登録資格(実務経験2年) / ピアヘルパー受験資格

●栄養学科(管理栄養士課程)

栄養士免許 / 管理栄養士國家試験受験資格 / 栄養教諭一種免許 / 食品衛生管理者任用資格 / 食品衛生監視責任用資格 / ピアヘルパー受験資格 / フードスペシャリスト受験資格 / 栄養情報担当者(NR)受験資格

人間科学部

●人間発達学科(人間発達学専攻)

■ 乳幼児発達コース ■ 娃童発達コース
小学校教諭一種免許 / 幼稚園教諭一種免許 / 特別支援学校教諭一種免許 / 保育士 / 学校図書館司書教諭 / 図書館司書

●人間発達学科(人間基礎学専攻)

■ 心理学コース ■ 国語・書道コース
■ 図書館・情報コース
中学校教諭一種免許(国語) / 高等学校教諭一種免許(国語・書道・情報) / 認定心理士 / 社会調査士 / 学校図書館司書教諭 / 図書館司書 / 情報処理士 / 上級情報処理士

九州女子短期大学

子ども健康学科

幼稚園教諭二種免許 / 保育士 / 養護教諭二種免許 / 病歴記録管理士受験資格(初級) / 医療管理秘書士受験資格 / ピアヘルパー受験資格



子どもや保護者、先生たちからも信頼される養護教諭になる。

九州女子短期大学
専攻科1年

金城 夏紀さん
(沖縄県 向陽高等学校出身)

MESSAGE

養護教育学専攻ですが、より深く学んでさまざまな資格を取得するために、みんな頑張っています。仲が良くて学びが楽しい毎日です。

とにかく早く一人前になって両親に恩返しする。

九州共立大学
経済学部 経営学科4年
(大学祭実行委員会)

中村 千香さん
(大分県 日田三隈高等学校出身)

MESSAGE

大学生活は楽しいことがたくさんあると思うので、自分をしっかりと持ち、やりたいことに積極的に取り組んで楽しんでください。



夢は、笑顔いっぱいの児童の支えになる保健室の先生!!

九州女子短期大学
養護教育科1年

須川 果歩さん
(大分県 大分鶴崎高等学校出身)

MESSAGE

大学で過ごした時間で、努力したことや一生懸命挑戦したこと、決して無駄にはならないから、夢に向かって頑張ってください!!



明るく楽しい授業ができる元気な先生になる。

九州女子大学
家政学部 栄養学科4年
(大学祭実行委員会)

國分 香里さん
(愛媛県 八幡浜高等学校出身)

MESSAGE
大学の4年間は、自分次第で何でもできる貴重な時間がたくさんあります。いろいろなことに挑戦してください。

「消防士になる」かなった夢を、もっと膨らませる。

九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科4年
(北九州市消防局内定)

水原 源也さん
(福岡県 九州国際大学付属高等学校出身)

MESSAGE
いい仲間に出会い、ともに刺激しあい、努力しあってください。やるときにはやる、遊ぶときには遊ぶ。この切り替えが大事です。



子どもたちに負けないくらい元気な保育士になる。

九州女子短期大学
初等教育科1年

豊内 唯真さん
(島根県 益田翔陽高等学校出身)

MESSAGE
2年間はあっという間なので、一日一日を大切にしてください。みんなに好かれると良いことがあります。笑顔を絶やさず!!

P 競技を断念した少年が出会った、アスレティックトレーニング

けがの多いアスリートだった。走り幅跳びでは大阪府で3位の実績を持ちながら、競技者としてのキャリアは高校時代で終わつた。将来を模索しているとき、ある記事が目にに入る。アメリカのアスレティックトレーナーの資格を日本人が初めて取得したというものだつた。アメリカには、スポーツ選手を専門に管理する資格がある。しかも学問として確立されている。自身の経験から、アスリートの日常の管理や、けがの処置、治療法などに疑問を抱いていた少年は、アスレティックトレーナーへと、新しい道を再び走り出した。

しかし留学を決意した今から30年前は1ドル250円。アメリカ留学できるのは、裕福な家庭の子女か、企業から派遣される人などに限られていた。「最終的にはアメリカの複数の大학に直談判に行きました。やる気はある、お金はない、チャンスをくれと」。やがて熱意と努力が大学の扉をこじ開ける。「幸いにも来いいよという大学があつて、授業料免除で学ばせてもらいました」。

そこまで駆り立てたものはなんだったのか。

藤井准教授は語る。「明確な目標設定とそれを達成しようとした執念ですね。できない理由ばかり探してもしょうがないでしょう。家庭が特別裕福なわけではないし、すぐに留学できるほど英語ができるわけでもない。じゃあ、お金を貯めなきや、英語を勉強しなきや……振り返ると、誰も辿つていらない道を歩んできましたね」。

アスレティックトレーニングの中でも、藤井准教授は過去の分析結果ではなく、目の前の個人を診るというスタンスをとる。

P ゼミのタイトルは“実践” アスレティックトレーニング

自らの体験が根底にある藤井准教授のゼミナールは、なによりも実践を重視する。「まずやつてみよう」というのが、私のゼミの特長です。

何かを覚えるだけではなく、ちゃんとできるようになるということが大事なんです。アスレティックトレーナーは対人援助職なので、同じ条件はありません。相手も違うし、相手の状況も違うし、だからこそ臨床学的のアプローチが必要なんです。こうすればうまくいくんじゃないかも知れないし、人によつて違う。実際に他人に関わることで他人からフィードバックを得ることが学びになるのです」。

藤井准教授の言葉を聴いていると、アスレティックトレーニングを通じて、あらゆる角度から人を診て、人を理解し、援助することによって、自分の人間力を高めることこそが目的だと感じる。実際、学生には「アスレティックトレーナーにならなくても良いと言つています。

教授の臨床学的アプローチは数少ない方法論とされる。信じた道を真っすぐに進む。そこに実践に基づく説得力が生まれ、結果がついてきた。

P 数字ではなく、人を重視する 臨床学的アプローチ

アスレティックトレーニングとは、スポーツだけではなく身体活動すべてにおいてけがをしないように、また、けがをしたらどうしたらよいかを研究する学問である。

そのアプローチには、自然科学的な方法と臨床的な方法がある。起こつたことへの対処にあたつて原因を分析したり統計的な確率を重視するのが自然科学的、現場で起きていることをすべて引き受けけるものは臨床学的アプローチと呼ばれる。

「自然科学は、事柄を細かく裁断して、最終的には統計的な数値を判断材料に用います。たとえば膝のけがをしたときに、手術をするのかしないのか。統計的には30%の人が手術が必要で、70%の人は必要ありませんなどと、数字で示します。一方、臨床学的な視点は異なります。何%の人にとって手術が必要かということ

今、目の前の課題に、最良な方法を突き止める。統計よりも実践が、エキスパートを育てる。

日本のアスレティックトレーニングの研究は、まだ途上にある。「だから、正しくできるところを見せて、伝える。それが新しいことを学んだ人間の役割」。

藤井准教授は、温和な表情の熱血漢だつた。

他人と関わることで学んだことは、どこででも活かせる。教員になろうが、販売員になろうが、営業職になろうが、すべて相手があつての職業だ」と教える。

ゼミの学生との話題は豊富だ。「どうでもいい話もたくさんします。大切な話をするのは当たり前、教員と一見重要なと思われるような会話ができることは、学生の成長の証だと思っています。重要な話ができる中で良い関係が育つと思っています」。先生に相談があるのか、研究室の前で待つ学生たちの明るい表情にも、ゼミナールの一体感を見て取ることができた。

Looking Good Goods!

見たいモノ聞きたいコト

アメリカで取得したアスレティックトレーナーの公認資格書（左）、この分野の最先端を学ぶべく単身渡米し資格を取得。アメリカの大学に直談判して入学するなど、糸余曲折の末に自身の熱意と行動力で手に入れた。右は帰国後日本国内で取得した資格書。



カネカラグビー部
プロのアスレティックトレーナーとして指導した社会人チームのカネカラグビー部。Bリーグで優勝してAリーグに昇格、全国社会人大会に出場した。



Hitoshi Fujii
藤井均

臨床学的アプローチによる
09 アスレティックトレーニングの確立をめざす

九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科 准教授

1962年、大阪府生まれ。全米アスレティックトレーナー協会公認アスレティックトレーナー資格取得。帰国後はプロ契約のトレーナーとして15年間活動。計画どおり40歳で教員となる。好きな言葉は、真ん中を抜ける、乗り越えるという意味のgo through。休日は夫として親として家族とともに過ごす時間を大事にしている。

興味を持つことがすべてのスタート。 次のステップは実践から見えてくる。

障がいを持つ人々が普通に生活できる社会を実現するための人づくり。障がい者サポートの現状を実感しながら生活している言葉には、迷いのない説得力があった。

(P) 体験で実感したことしか、話せない、伝わらない

専門は、障がい児保育、障がい児・者福祉である。「障がいを持った子どもたちを、どのような視点で保育・教育していくか、その子たちが大人になつたときに、地域で通常の人たちと同じような生活を送るために、保育士や幼稚園などでどのような教育が必要か」ということがテーマです。その時期その時期を個別に考えるのではなく、幼児期、学童期、青年期と、障がいを持った方の人生をトータルでいかにサポートしていくかということ、そのため必要なことを研究しています」。口調にはけれん味がない。

矢野教授の弟には自閉症という発達障がいがある。不羈を承知で言えば、研究分野と毎日が密接に関わり合っている。「現実の社会は、障がいを持つ方が生活して行く上のサポートに足りないことがいっぱいあって、それを実感しながら生活していますから、私の研究はそこが基盤になっています」。人がある分野について追求しなくなっていますから、私の研究はそこが基盤となっています」。人がある分野について追求しようと思い立つききっかけは、さまざまである。

きつかけが、その人の実体験から生まれたものであつたり、その人の生活と深く繋がつていればいるほど使命感が強くなり、より深く研究できることはあると思いますが、とくにこの分野に関しては実感として福祉の体制がどうなのかとか、そういうことを体験していないと、人に話すことができないし、学生に伝えることもできないと思っています」。自己紹介のときには必ず「私は弟に障がいがあるのでこの分野を研究しています」と話すようにしている。そこからがスタートという思いで。

(P) 人のことを自分のことのように思える感性・「共感力」を育てるのは実践から

根底に他人を思いやる心、共感できる心を持つということ。それを学生に理解してもらうために、矢野教授は講義とともに実習の重要性を強調する。

保育士の資格をとるために、実習は児童養護施設や乳児院に特化して行くことが多い。が、第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。

マイナスの面でも人生の中でプラスに変えて行くしかないわけですか。もちろん、や孫に障がいがあるかも知れないけれど興味を持つてくれます。そこが第一歩なんですね。



Looking Good Goods!

見たいモノ聞きたいコト

学生が居眠りするのは、授業が退屈だから。そう考える矢野教授は、自らのライブラリーの中から、伝えるべきだと感じた映像作品などを積極的に講義で使用する。ほとんどの学生たちは共感し、話題してくれる。共感する心はすべての人が持っていると信じている。

もちろん、講義も疎かにはしない。教室では、多くの体験の場を提供しそこから「気持ちに寄り添つて接することが第一」と話しています。今年から新しく始めるゼミでも、学生に多くの体験の場を提供してくれます。学生たちは、「共感力」という感性を育んでいくとほしいと思う。

矢野 洋子

Yoko Yano

共感できる心を育む。
自身の体験に基づく言葉で、
少しずつ確実に。

九州女子短期大学 子ども健康学科 教授

大分県出身。主要担当科目は社会福祉原論・障がい児保育・保育実習指導・児童福祉他。障がいのある家族を支える体験からこの道を志す。夢は、教え子たちと協力して障がい者が通えるやさらぎの場所をつくり、心のこもったサービスを提供すること。

(P) 母校としての支援体制、リカレント教育の必要性

もちろん、講義も疎かにはしない。教室では

さまざまな課題を検証し解決策を見いだすこと

で、社会全体の意識を高めていきたいと願う。



ともに戦ってきたユニフォーム。バレーボールのキャプテンナンバーは1、下に真一文字が入る。牽引してきたチームの飛躍を後輩に託し、今年からプロアスリートの道を駆け登る。

五口り口は朴訥である。言葉のテンポからは、コート内でアグレッシブに躍動する姿を想像できない。しかし、アスリートとしての実績は抜群だ。中学選抜→高校国体→九州選抜(大学3年次)と着実にステップアップしてきた。シャイな表情とは裏腹に瞳の奥には「コートの中で力を出し切る」という強い信念が燃えている。小学生の頃からバレーボールを追いかけてきた。ポジションはセッターからアタッカー、そして現在のセンターへ。度胸、応用力、機転、瞬にして全体を把握する視界の広さが監督にかわされた。「つなぐことがバレーボールの神髄」と語る。そのプレーは、きっと潔く迷いがないに違いない。

昨年はキャプテンとしてチームをまとめ、インターラッジでベスト8まで進んだ。心に残る大会だった。結果は「ギリギリの勝負を重ね、戦い抜いた達成感」に満たされた。勝たなければならぬ試合で苦戦する。その経験と反省が強豪相手との互角の勝負につながる。ギリギリの経験がチームを強くすること、ここぞの時に団結できることこそチームワークであることを学んだ。

大熊さん曰く「チームのまとめ役というポジションは苦手」。だが、任命してくれた監督の言葉にうなづいた。「お前のプレーで、みんなを引っ張ってくれればいい」。根っからのプレイヤーは、バレーボールにひた向きに

今年は、チームの中からただ一人、プロとしての第一歩を踏み出す。所属チームは、Vリーグのチャレンジリーグで戦うフォアレストリーグス熊本。練習に参加して大学のチームとの違いを感じた。プロ選手としての自覚、練習の厳しさと質の高さ。もちろんそれは望むところだ。特定のプレイヤーではなく、バレーボールに打ち込むメンバーたちの日常生活を尊敬する。大学時代以上にバレーボールに集中できる環境に飛び込める幸せを実感しながら、夢は大きく膨らむ。

卒論のテーマは「体幹トレーニングがジャンプアップに与える影響」。「バレーボールしかやってこなかつた」。そう言い切り、さらなる高みへのジャンプアップをめざす。

大熊さんの思い出 MEMORIES



大学生活4年間の集大成、インターラッジ。チームを引っ張り、諦めず、踏ん張ってベスト8に食い込んだ。本当のチームワークとは何かを学んだ大会のスナップ。



九州共立大学
スポーツ学部スポーツ学科 4年
大熊 亜希さん

Profile

佐賀県立鳥栖商業高等学校出身、高校時代のプレーが監督の目に止まり、特待生として入学。4年次にはキャプテンを選ばれ、ひたむきなプレーでチームを鼓舞する。夢はプロ選手として活躍することで人々に夢を与えること。子どもたちを対象としたボランティア活動にも興味を持つ。

五口

り口は朴訥である。言葉のテンポ

からは、コート内でアグ

レッシブに躍動する姿を

想像できない。しかし、ア

スリートとしての実績は

抜群だ。中学選抜→高

校国体→九州選抜(大

学3年次)と着実にステップ

アップしてきた。シャイな

表情とは裏腹に瞳の奥に

は「コートの中で力を出

し切る」という強い信念が燃えている。小学

生の頃からバレーボールを追いかけてきた。

ボディショーンはセッターからアタッカー、そして

現在のセンターへ。度胸、応用力、機転、瞬間に

して全体を把握する視界の広さが監督にか

わられた。「つなぐことがバレーボールの神髄

」と語る。そのプレーは、きっと潔く迷いがない

に違いない。

つないでつないで、決める快感。 ギリギリの勝負で チームも個人も強くなる。

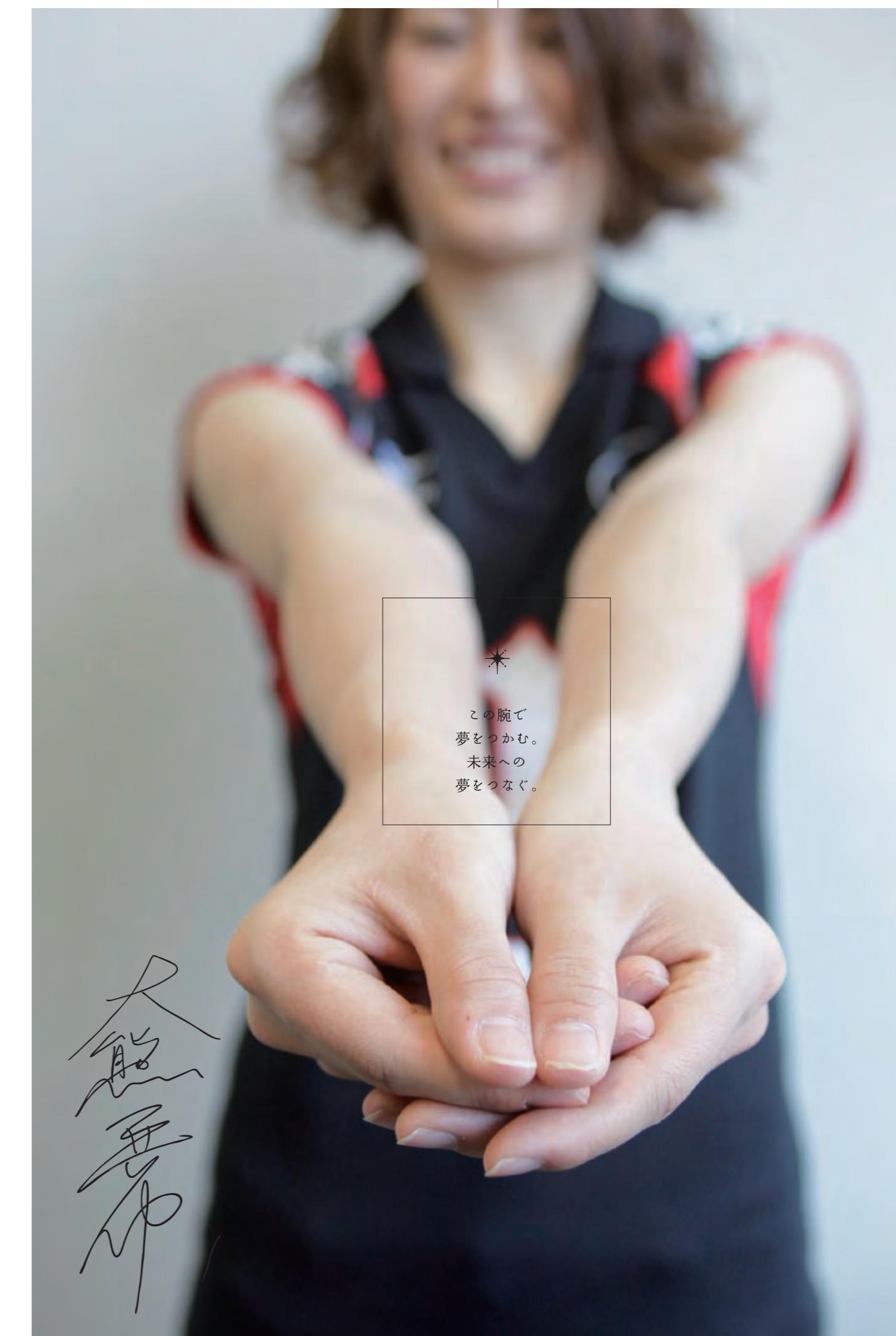
◎九州共立大学(バレーボール部キャプテン)

友だちの誘いで始めたバレーボールが、いつしか生活の中心になつた。バレーボールが好き。一直線のひたすらなプレーは、やがてキャプテンとしてチームの中心で存在感を増した。今、卒業後もバレーボールができる幸せを胸に、プロの世界へ飛び込む。

取り組む姿でチームをひとつにした。メンバーの気持ちがバラバラになろうとしたことがあった。「ただバレーボールがしたいのに」。自らの思いを抑えながら、とことん話し合つて乗り越えた。コートの中で、そしてメンタルの部分でも、センタープレイヤーの重責を果たした。

今年は、チームの中からただ一人、プロとしての第一歩を踏み出す。所属チームは、Vリーグのチャレンジリーグで戦うフォアレストリーグス熊本。練習に参加して大学のチームとの違ひを感じた。プロ選手としての自覚、練習の厳しさと質の高さ。もちろんそれは望むところだ。特定のプレイヤーではなく、バレーボールに打ち込むメンバーたちの日常生活を尊重する。大学時代以上にバレーボールに集中できる環境に飛び込める幸せを実感しながら、夢は大きく膨らむ。

卒論のテーマは「体幹トレーニングがジャンプアップに与える影響」。「バレーボールしかやってこなかつた」。そう言い切り、さらなる高みへのジャンプアップをめざす。



◎九州女子短期大学(バスケットボール部マネージャー)

「コートではなく ベンチでプレーする」とを選んだ。 マネージャーの気配りは、 実社会での即戦力に。

自ら選んだマネージャーというポジション。
当初は、プレーへの未練を感じたが、
やがてチームを支えている自分に誇りを感じるようになった。
メンバーのために自分は今、何ができるのか?
つねに考え方行動してきた経験を実社会で活かす。



バスケットボール一家に育つた。父母のDNAは子どもたちにも正確に生まれ、家族のチームワークは抜群だった。スポーツ物語にありがちな、難辛苦を乗り越えて、といったイメージはまったくない。厳しく頼りになる父、穏やかで細やかな母、ムードメーカーの弟、堅実な妹……。家族としてそれぞれのポジションで役割を果たして、まとまっていた。それは、ごく自然なことだった。

小・中・高と9年間バスケットボールに親しんできた。九州女子短期大学では、九州共立大学・九州女子大学の混成バスケットボール部に入部。そこで、自らマネージャーを買って出た。最前線のプレイヤーからベンチで支えるポジションへ。「マネージャーがいなかつたこ

ともあり、小さな頃からプレイヤーとして打ち込んできたので、立場を変えてチームの役に立ちたい」と思った。注目を集めること、引っ張ること、チームをサポートすること。自分に合ったポジなく支えることの大切さ。自分に合ったポジションに気づく。

学生連盟ではバスケットボールの大会運営にも携わってきた。チームの勝利だけでなく大会を成功裡に終わらせる苦労やプロセス、そして達成感を味わった。ひとつのこと成し遂げるために「次は何をしたらいのか」。つねに考えながら活動してきた。試合や大会を、させてもらっているという感謝の念が自然に生まれてきた。謙虚な心、細部と全体を見渡す力が培われていった。よろこびを感じる瞬間は、関係者から「ありがとうと声をかけられたとき」だ。

この春の就職はすでに内定している。就職活動について「今までにやつてきたことを自信をもつて直接で話すことができたので、思はれていた」と振り返る。新社会人とは思えない落ち着いた態度や表情は、マネージャーの経験と無関係ではないだろう。

大学の講義だけでは習得できない「気配り」という能力が認められた職場は、保険会社の営業職。いわば顧客の人生をサポートする仕事である。選手一人ひとりのコンディショニングに気を配るマネージャーとしてのスキルが活かされることは間違いない。「保険をみつかり勉強して、お客さまがどう考え、何をして欲しいのかを理解して、ニーズに応えていく」と。プロフェッショナルの自覚は、すでに芽生えている。

MEMORIES 津田さんの思い出



胸にBox-Outの文字で、心をひとつに。ゴール下でボールの落下地点に入れないように相手を押し出すプレー「ボックスタウト」をユニフォームの胸に刻み、課題のプレーを意識しながら克服した。

九州女子短期大学
初等教育科 2年

津田 あゆみさん

Profile

熊本県立大津高等学校出身、小学校4年からバスケットボールを始める。大学主催のニューイヤーキャンプでバスケットボールの練習試合に参加したことをきっかけに進学を決める。めざすは、仕事をこなし経済的にも精神的にも自立した女性。



From OB & OG To You 贈る言葉、送る想い

同じキャンパスで学んだからこそ、分かることがある。

伝えたい想いがある。

この丘に吹く風を呼吸し、ここから立って、いま、さまざまな世界で活躍している先輩たち。
彼らが、その熱い想いを、言葉にこめて贈ってくれました。

私は昭和59年に経済学部経営学科を卒業し、地元(山口)の金融機関に就職しました。私自身野球が大好きで高校3年の地区予選敗退を機に、できればもう少し野球を続けたいという心で、九州共立大学硬式野球部の門をたたき、4年間大学野球を経験させてもらいました。この大学4年間の経験で得たものは大変大きく、今日まで私の心中では自信となつております。

当時は今のような画期的な設備も内容も整つておらず、その中で、苦しい、辛い経験を共にしたチームメイトたちは私の大切な財産と思っています。また、同大学の仲里監督、上原コーチをはじめとする、スタッフ、選手の方々の力を借りて、年に1回山口にて野球教室を開き、子供たちに野球を通じてあれあうことができるのも本当に感謝の一言につきません。

自分が自信を持つことは、自分で何か一つ打ち込めるものを探し、結果はどうあれ努力することで養われるものと私は思っています。大学在学中は自分自身をしっかりと見つめ、何かに打ち込むことにより確固たる人間力をつくる絶好の機会だと思います。そこで経験が社会人になって、必ず生きていると私は確信しています。

我々の世界も競争社会の中で日々活動していますが、大学時代に野球で養った経験が自信となり、いかなる苦難も乗り越えられる力になっています。また私についてきてくれるすばらしいスタッフの下支えがあることも、本当に感謝しています。

私は、家政学部管理栄養士専攻を昭和57年度に卒業しました。現在、給食受託会社において栄養士、管理栄養士の育成指導にあたっています。

「自律処理」。九女時代に自立する事を指導頂きました。服装、立ち振る舞いにも厳しいチェックを受けた事を懐かしく思い出します。

当社では、今年度も20余名の新入社員を迎えますが、最近の新入社員の傾向として指示待ち族が多くなり増えています。言われた事は出来るがそれ以上は動かないと言う事です。社会に出ればそれでは通用しません。常に考え方、使える人間頼れる人材となる事、企業は、即戦力を求めます。「仕事ができる」と信じる心と、周りへの気配りが仕事を楽しくステップアップさせていく力となります。

大学時代は人間形成の時期だと思います。まだ目標が定まってない方は、自分の進んだ学部でしつ

努力は実を結ぶ



昭和59年度卒 九州共立大学
経済学部経営学科
永田 淳
萩山口信用金庫 宮野支店 支店長

私は、専門分野を磨き、そして多くの先生方と話すことで多くの友人と語り、多くの地域の方々とふれあい見聞を広げ、人間として大きく成長してください。必ず目標が見えできます。そして、社会人としての基本マナーを身につけ、実社会で通用するコミュニケーション力を身につけてください。努力は必ず実を結びます。皆様のご活躍を期待いたします。

自信の構築と人間性の向上

Top!CS

【トピックス】
福原学園の“いま”をお知らせします。



昭和57年度卒 九州女子大学
家政学部家政学科 管理栄養士専攻
崎山 栄子

富士産業株式会社 九州事業部
栄養衛生課 次長

九州共立大学、九州女子短期大学の取組が、平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」に選定されました。

FROM 九州共立大学・九州女子短期大学

■九州共立大学

在学中に積極的なキャリア教育を実施している「生涯キャリア支援による就業力育成」の取り組みが文部科学省の評価を受けて選定されました。5年間にわたる文部科学省の支援のもとに、4年間の在学期間を通してキャリア教育



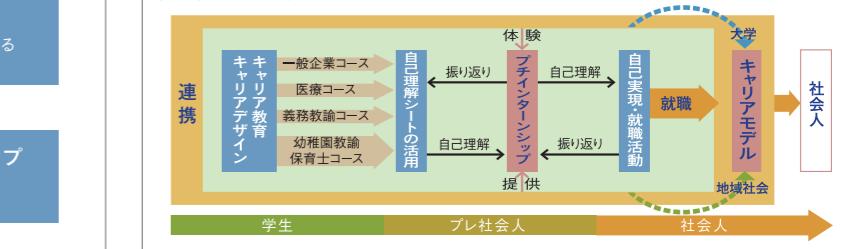
に力を入れ、卒業後の進路についてもバックアップを行うなど、学生一人ひとりに合ったさまざまなサポートをしています。

■九州女子短期大学

学業だけでなく、就業力を育成する取り組みが評価を受けました。テーマは「育ての絆—地域力を生かした就業力育成—」。キャリア

教育を土台に、地元商店街の協力を得てブチインターンシップを実施し、社会人としての準備を整えた「プレ社会人」を育成して社会に送り出します。九州女子短期大学は、平成21年度に選定された九州女子大学とともに、就職に強い“九女”として体制の充実を図っています。

◎九州女子短期大学



福岡ソフトバンクホークス柴原洋選手が、アオダモの植樹を行いました。

FROM 九州共立大学

1月8日(土)、本学卒業生である柴原洋選手が本学を訪ね、アオダモの植樹式を行いました。アオダモは、プロ野球、大学野球、社会人野球で使用されるバットの原料となる木で、柴原選手らが発起人となった「ONE'S プロジェクト」※の第1弾となる「夢プロジェクト」として、苗木15本を植樹しました。

※「みんなの力をひとつに集めて最大の力を」をコンセプトに、立ち上がったプロジェクトで、柴原選手の他、Jリーグ柏レイソルの布部陽功コーチ、セレッソ大阪の播戸竜二選手が発起人となっています。



和田翔吾さん(スポーツ学部)が、広州アジア大会において銀メダルを獲得。

FROM 九州共立大学

2010年11月12日(金)から中華人民共和国広州市にて開催された第16回アジア競技大会のボウリング競技において、和田翔吾さんが見事銀メダルを獲得しました。12月6日(月)に福原弘之学長を訪ねてメダル獲得を報告し記念撮影、また、本年1月12日(木)には、北橋健治北九州市長を表敬訪問しました。市長からは「次の大会では、ぜひ金メダルを!」と激励を受けました。



山本華世氏が、昨年に続き2011年も、学園特別講師を務めます。

FROM 九州共立大学
九州女子大学・九州女子短期大学

山本華世氏が、本年も福原学園の特別講師を務めることになりました。2010年は、リバティ第3号で大学1年生たちと福岡のことや夢などについて大いに語り合ったほか、各大学・自由ヶ丘幼稚園の入学式での来賓あいさつ、自由ヶ丘高校文化祭への飛び入り参加、九州女子大学キャリアデザイン科目におけるリレー講義の講師など、多方面で活動していただきました。本年も豊かな経験と明るいキャラクターで、さまざまなイベントを通して福原学園を活気づけていただきます。

